

日本原子力学会春の年会 第44回炉物理部会全体会議議事録

日時：平成28年3月27日(日)12:00-13:00

場所：日本原子力学会2016春の年会 O会場 講義棟C C201 (東北大学川内キャンパス)

1. 炉物理部会賞 貢献賞の創設について (資料44-1)

吉岡部会長より配布資料44-1に基づき、炉物理部会賞 貢献賞の創設について提案がなされた。これは2015年秋の大会全体会で「特別賞」と提案したものを「貢献賞」とし、従来の部会賞を「奨励賞」とすることで目的を明確にするものである旨が説明された。審議の結果、部会賞に「奨励賞」、「貢献賞」を作ることが承認された。細かな内規について平成28年度運営小委員会で審議することとした。

2. 平成28年度部会運営委員の選出 (資料44-1-2)

下記の次期運営委員が選任され、了承された。(下線は新任者)

小原 徹	部会長 (任期1年)	東京工業大学
<u>日野 哲士</u>	<u>副部会長 (任期1年)</u>	<u>日立製作所</u>
西山 潤	庶務幹事 (任期1年)	東京工業大学
<u>藤村 幸治</u>	<u>庶務幹事 (任期2年)</u>	<u>日立製作所</u>
北田 孝典	部会等運営委員会担当運営委員	大阪大学
高木 直行	編集委員会担当運営委員	東京都市大学
奥村 啓介	HP担当幹事	原子力機構
小嶋 健介	HP担当幹事	原子力機構
多田 健一	HP担当幹事	原子力機構
遠藤 知弘	財務小委員会担当幹事 (任期1年)	名古屋大学
<u>郡司 智</u>	<u>財務小委員会担当幹事 (任期2年)</u>	<u>原子力機構</u>
小玉 泰寛	編集小委員会担当幹事 (任期1年)	原子燃料工業
<u>相澤 直人</u>	<u>編集小委員会担当幹事 (任期2年)</u>	<u>東北大学</u>
<u>日野 哲士</u>	<u>セミナー小委員会担当幹事 (任期1年)</u>	<u>日立製作所</u>
<u>藤村 幸治</u>	<u>セミナー小委員会担当幹事 (任期1年)</u>	<u>日立製作所</u>
鈴木 伸英	学術交流小委員会担当幹事 (任期1年)	三菱重工業株式会社
<u>岩元 大樹</u>	<u>学術交流小委員会担当幹事 (任期2年)</u>	<u>原子力機構</u>
卞 哲浩	学術交流小委員会担当幹事 (日中韓WS担当)	京都大学原子炉実験所
木村 礼	学生・若手小委員会担当幹事 (任期1年)	東芝
<u>左近 敦士</u>	<u>学生・若手小委員会担当幹事 (任期2年)</u>	<u>近畿大学原子力研究所</u>

3. 平成 27 年度予算実績報告 (資料 44-2)

財務小委員会担当幹事より配布資料 44-2 に基づき、平成 27 年度の予算実績の報告がなされた。日中韓炉物理 WS の旅費補助のために予算案を超過した部分については、繰越金の一部を切り崩し、予算の執行を行った。

4. 「炉物理の研究」第 69 号の発行計画

編集小委員会担当幹事より、発行状況が報告された。4 月発行予定。

5. 炉物理夏期セミナーテキスト公開について (資料 44-3)

HP 担当幹事より配布資料 44-3 に基づき、炉物理夏期セミナーのテキスト公開に向けた状況が報告された。前回提案された外部委託なしに電子化できる見通しとなった。電子化後のページ抜けなどの電子データチェック作業について部会員への協力要請がなされた。なお、第 4～9 回のテキスト原本がまだ未入手のため、あらためて部会員に対してテキスト入手の協力要請がなされた。

6. 第 1 回「日中韓炉物理 WS」の報告 (資料 44-5)

学術交流小委員会担当幹事より配布資料 44-5 に基づき日中韓炉物理 WS の報告が行われた。151 名の参加があり、学生 5 名に部会から旅費の補助を行った。次回は 2017 年 8 月に中国で開催予定。

以下の議事は、新運営委員により進行された。

7. 新部会長挨拶/運営委員紹介

小原新部会長及び運営委員より挨拶がなされた。

8. 平成 28 年度秋の大会での企画セッション (資料 44-5)

学術研究交流小委員会担当幹事より配布資料 44-5 に基づき、平成 28 年度秋の大会での企画セッションテーマについて議論を行った。テーマとして春の年会のフォローアップの位置づけでコードベンチマークについての案と、核データ、放射線工学部会が共同で開催を予定している加速器の廃止に関わる企画セッションに原子炉の廃止についても加わる案が紹介された。議論の結果、すでに他部会で話が進んでいる原子炉の廃止に関する案を採用することが承認された。内容については運営委員に一任し、意見があれば 4 月中頃までに担当運営委員に連絡することとした。

9. 平成 28 年度予算計画 (資料 44-6) 財務担当小委員会担当幹事より、配布資料 44-6 に基づき、平成 28 年度予算案が提案され、了承された。

1 0. PHYSOR2014 余剰金の使用に関して (資料 44-6 添付 1)

財務担当小委員会担当幹事より、現在炉物理全体会議 (年 2 回) での承認が必要な予算改定について、PYSOR2014 の余剰金の円滑な運用のために、旅費の改定については、炉物理運営委員会の審議を経て、改定する方針への発議が行われた。議論では、予算に関する手続きは、部会規約に則る必要があり、手続きを変更したい場合は規約の改定が必要であることが指摘された。また毎年の予算案について、旅費計上の根拠を含めてしっかりと予算計画を立てることが指摘された。一方、規約改定について、全体会議、部会等運営委員会、理事会の承認が必要な現行規約を、全体会議で承認、部会等運営委員会などには報告で済むよう規約改定が行われているため、この改定後の 2016 秋の大会以降に本件に関する規約改定を行うこととした。

1 1. 第 48 回炉物理夏期セミナー開催計画 (資料 44-7)

セミナー小委員会担当幹事より、配布資料 44-7 に基づき、第 48 回炉物理夏期セミナーの概要が説明された。

1 2. 「炉物理部会規約」「炉物理部会内規」「炉物理部会表彰内規」の変更について

部会等運営委員会担当運営委より、規約、内規についての変更について説明が行われた。また岡嶋理事より、現在学会全体として、規約の見直し・統一を進めている旨の説明がなされた。規約の改定について、現在の規約では、運営小委員会の発議に基づき、部会全体会議での審議を経た後、部会等運営委員会及び理事会での承認を要することになっており、この部分について部会全体会議での承認、部会等運営委員会及び理事会への報告とすることが発議され、了承された。

現在「内規」としているものを「細則」と名称変更することが了承された。

部会表彰について、全体会議ではなく運営委員会での承認とすることが了承された。

小原部会長から連絡会から部会ができた経緯の説明、運営体制も含めた部会長の任期について提案がなされた。本件については、運営委員会で議論することとした。

1 3. 原子力学会フェロー会員推薦状況

炉物理部会から中島先生 (京都大学原子炉実験所) をフェロー会員として推薦したことが報告された。

1 4. 炉物理のロードマップについて

山本先生 (名大) より、福島第 1 原子力発電所事故から 5 年たったこの時点で、再度炉物理として今後何をしていくべきかのロードマップについて、炉物理部会で審議すべきとの提案があった。山本先生が取り纏め役として、本件について部会として取り組むことが了承された。

配布資料

資料 44-1 炉物理部会賞 貢献賞の創設についての提案

資料 44-1-2 2016 年度炉物理部会運営小委員会（案）

資料 44-2 平成 27 年度 炉物理部会予算及び実績

資料 44-4 炉物理夏期セミナーのテキスト公開に向けた活動報告

資料 44-5 第 1 回「日中韓炉物理 WS」の報告

資料 44-6 平成 28 年度炉物理部会予算案

添付 1 PHYSOR2014 余剰金の使用に関して

資料 44-7 第 48 回炉物理夏期セミナー開催計画（案）

以上